

Nakamori

食料安全保障の確立を目指して



中森農産株式会社

代表取締役 中森 剛志 @埼玉県消費者大会

自己紹介

中森 剛志 (age 36)

Tsuyoshi Nakamori

中森農産株式会社 代表取締役
／CEO



東京農業大学 農学部 農学科 卒
東京生まれの非農家出身（新規参入
9年目、農業一筋15年以上）

日本農業に貢献すべく、学生起業

- 青果流通業・飲食業を東京で展開
- 日本の農業に一生を賭ける！学生委員会、世界学生フォーラムにて学生活動

日本スローフード協会 初代代表理事

日本バイオ作物ネットワーク 副理事長（現職）

一般社団法人日本販売農業協同団体連合会 理事
（現職）

国家ビジョン研究会 農業問題分科会副幹事（現職）

中森農産 会社概要

設立

2017年2月

従業員数

26名（平均年齢29歳）
グループ全体34名

事業内容

農作物の生産・加工・販売
農作業の受託・事業承継
農業経営コンサルティング



所在地

埼玉県加須市戸川797-1

資本金

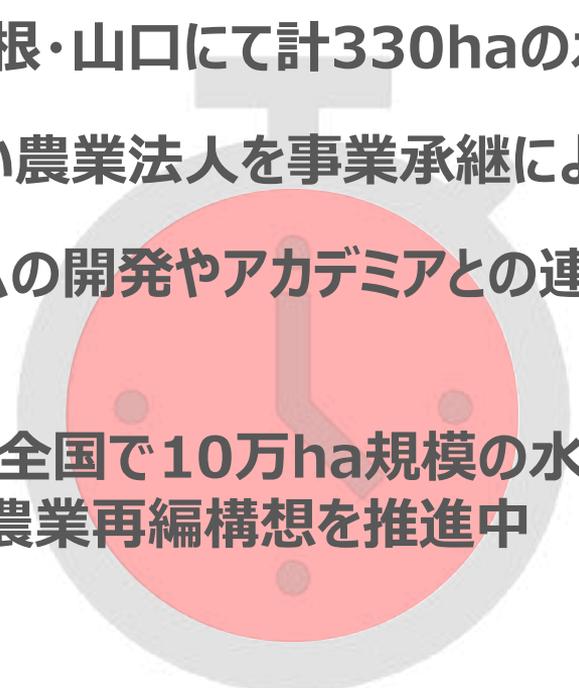
315,005,000円
(資本準備金含む)

主要株主



中部電力

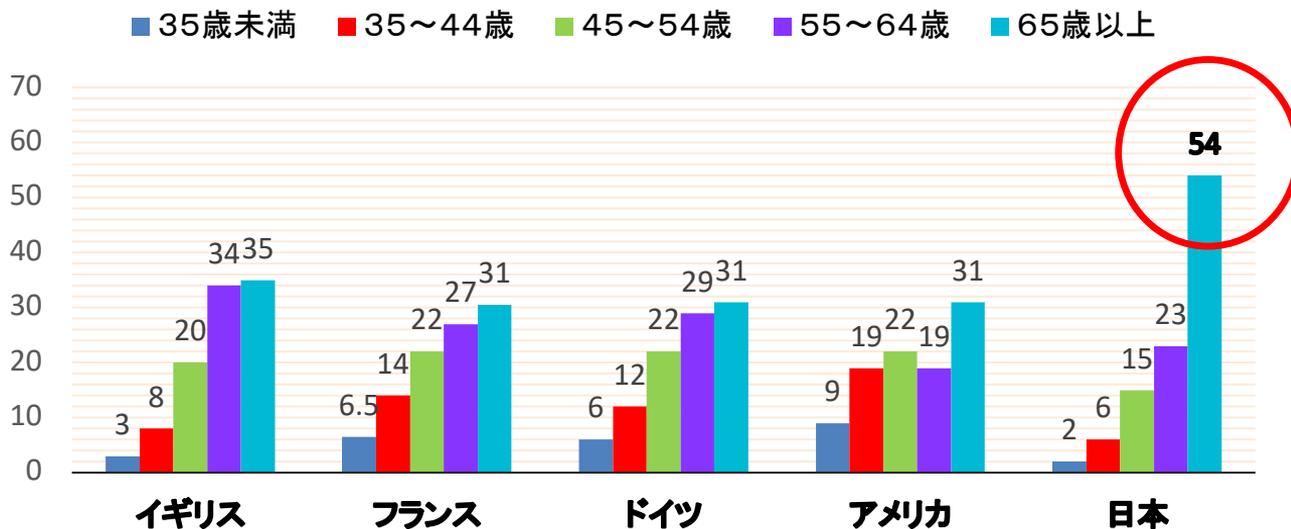


- 
- 埼玉・栃木・島根・山口にて計330haの水田を運営
 - 後継者のいない農業法人を事業承継によって統合
 - 独自AIシステムの開発やアカデミアとの連携でイノベーションを起こす
 - 2050年までに全国で10万ha規模の水田集約を目指す、日本最大級の農業再編構想を推進中

地方創生と食料安全保障を同時確立

なぜ農業をやるのか？

各国の農業従事者の年齢構成（％）



出典：英仏独は、EUROSTAT(2022):農業に従事した世帯員 米は、米国農務省「センサス(2022)」:主に従事した世帯員 日は、農林水産省「2020年世界農林業センサス」:基幹的農業従事者

なぜ農業をやるのか？

〔図〕 現状延長ベースでの農業経営体数と農業生産額の見通し



出所：三菱総合研究所

なぜ農業をやるのか？

図 2050年までの主食穀物需要・国内生産・ギャップの成り行き推計（単位：万トン）



出所：各種統計から三菱総合研究所作成

経営理念・ビジョン

経営理念

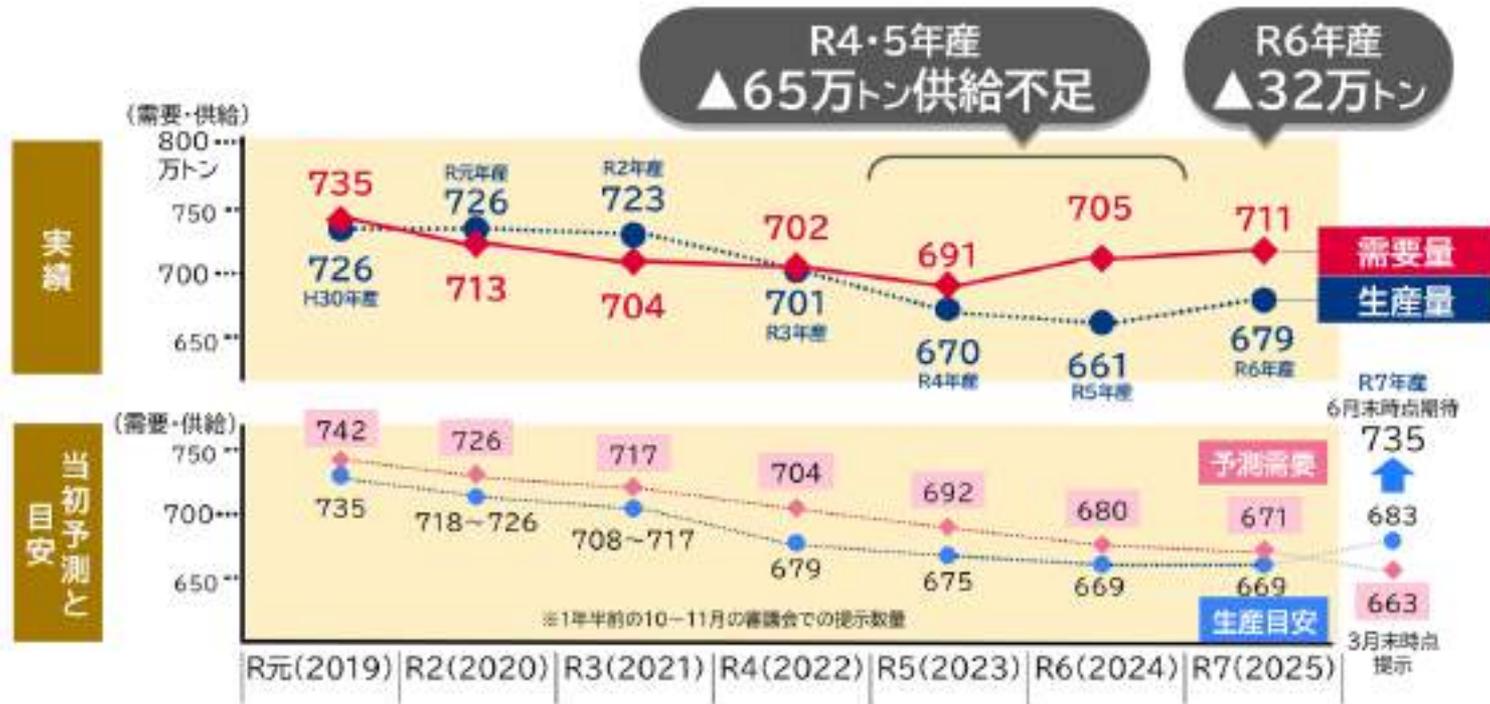
**農業がもたらす価値を最大化し
人々の食を守り抜く**

ビジョン

**日本農業の生産能力を高め
未来永劫継承する**

米不足はなぜ起きたか？

図表1 令和元年以降のコメの需要・供給の当初予測・目安と実績の推移



離農者の農地の受け皿となり、 日本史上最速のスピードで農地を拡大



全国に拠点を展開しメガファームを構築

総量でのテラファームを目指す



急激な成長を支える、大手企業・ファンドからの支援 アカデミアとの共同研究による実力醸成

資本・業務提携先



共同研究 等



提携（公表ベース）



農事組合法人の事業承継①

【島根県江津市の事例概要】

- 中山間地/26ha/水稲・大豆・野菜/雇用2名/組合員数約50名
- 組合長や理事の高齢化、管理人材の不在
- 獣害や水害が発生する地域



【ポイント】

- 足掛け3年をかけた相互理解
- 行政の意欲的なサポート&連携協定締結
- 地域行事、保全会等への協力を明記した基本合意書を締結



農事組合法人の事業承継②

【栃木県野木町の事例概要】

- 平地/30ha/水稲・麦類・大豆/雇用1名/組合員数約15名
- 組合長の高齢化、管理人材の不在
- 基盤整備と集約が進んだ優良農地

【ポイント】

- 足掛け3年をかけた相互理解
- 組織内環境の整理
- 組合加入と代表理事就任
- 1年半の伴走支援



株式会社の事業承継③

【山口県山口市の事例概要】

- 中山間地/27ha/水稲・小麦・大豆/
雇用0名/ライスセンター所有
- 代表者の高齢化、経営不振
- 分散した農地



【ポイント】

- 個人資産への配慮
- オペレーター人材も派遣
- 新会社の設立
- 足掛け2年の承継内容協議



中森農産の戦略（戦略をささえるキーワード）



オーガニック（有機）



Travis AI



ソーラーシェアリング

Nakamori

農業界初のリーディングカンパニー



有機のポテンシャル

欧米を中心とした世界の有機市場は
14%/年と急伸中

- 政策“みどりの食料システム戦略”
- 付加価値最大化・費用最小化
- 部分抽出PLは営業利益率40%を達成

有機食品市場2035年予測



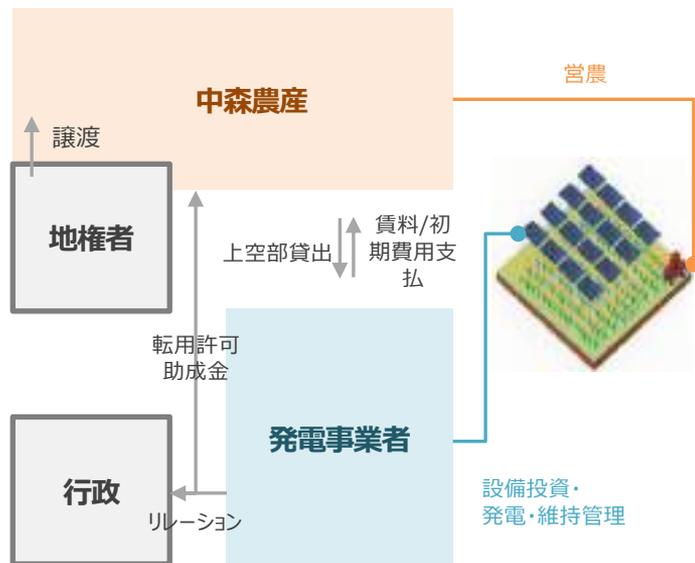
2



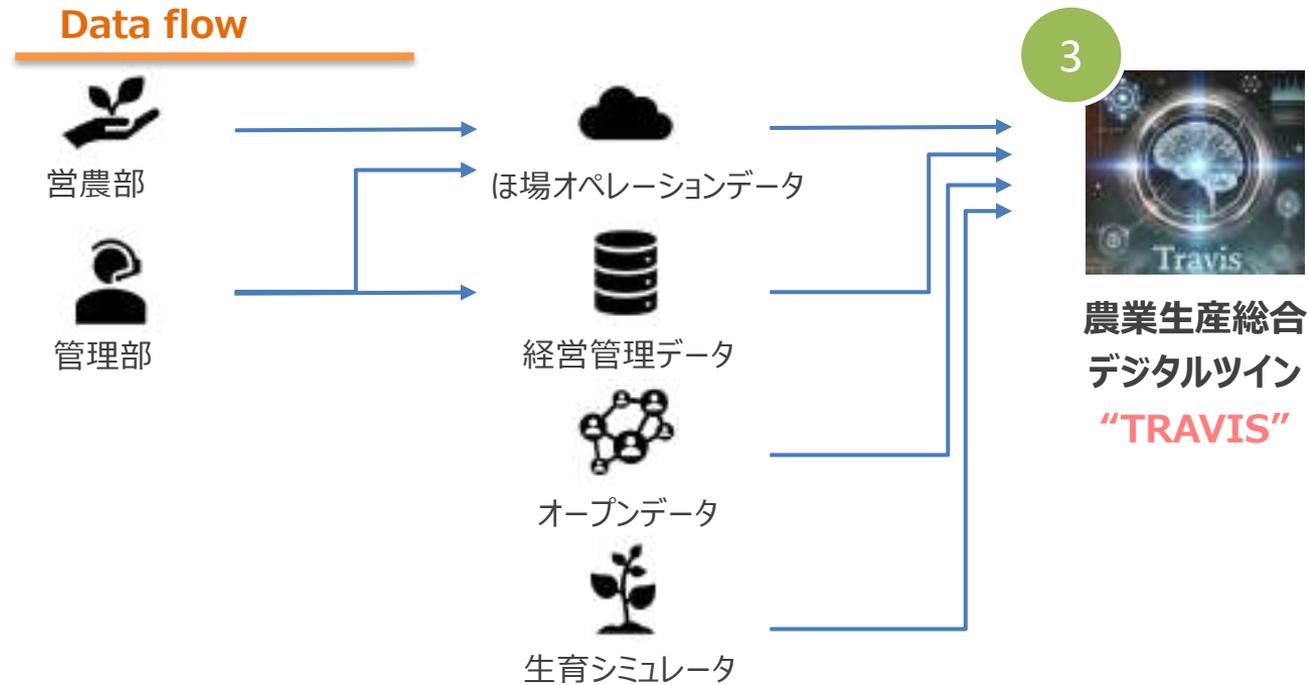
ソーラーシェアリングの重要性

“食料×エネルギー” 安全保証の要

- 異常気象に左右されない安定収益・農場のエネルギーを農場が自給体制
- 初期投資なく安定収益構造へと大転換、実証圃にて達成済み
- 政策“2050年までに再生可能エネルギーを日本の主要電源に”

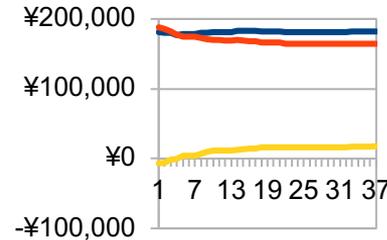
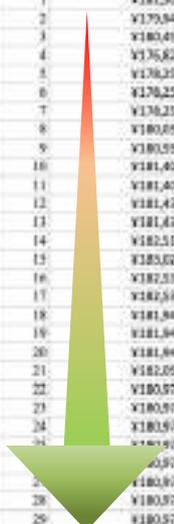


日々取得する農場のビックデータを活用し、 独自AIシステム基盤を実装

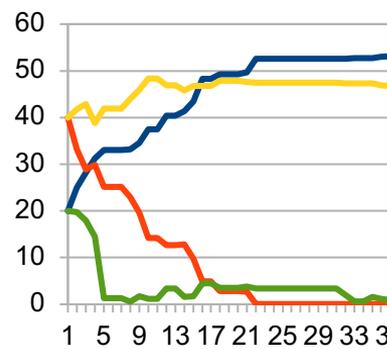


A I が自動で農場運営を最適化し、より収益性の高い生産計画を立案、 マネージャー人材の擁立が容易に

期間	収入(千円)	支出(千円)	収益(千円)	最大平均	平均	標準偏差	系統則	累積	年	有機	小麥	小麥	大豆	飼料	雑穀
1	¥181,309	¥182,975	-¥1,666	6.6928	0.85969	5	28	40	40	28	20	28	20	20	20
2	¥179,844	¥185,608	-¥5,665	6.36853	0.82832	5	24.5899	33.2202	41.7997	09					
3	¥180,480	¥182,807	-¥2,327	6.12724	0.81645	5	28.1615	28.8903	42.9182	07					
4	¥176,625	¥172,694	¥3,931	5.5862	0.85282	5	31.2846	28.8944	38.881	06					
5	¥178,252	¥174,351	¥3,901	5.48132	0.85652	5	32.9819	25.1479	41.8781	13					
6	¥178,252	¥174,351	¥3,901	5.48132	0.85652	5	32.9819	25.1479	41.8781	13					
7	¥174,351	¥174,351	¥0	5.48132	0.85652	2.5	32.9819	25.1479	41.8781	13					
8	¥180,853	¥172,708	¥7,827	5.46442	0.87732	2.9	33.1528	22.981	43.9363	03					
9	¥180,853	¥173,109	¥7,488	5.46244	0.82888	2.9	34.5936	19.5815	45.885	07					
10	¥181,405	¥169,903	¥11,405	5.2861	0.81628	2.5	37.4445	14.2861	48.3494	13					
11	¥181,405	¥169,903	¥11,405	5.2861	0.81628	2.5	37.4445	14.2861	48.3494	13					
12	¥181,405	¥169,903	¥11,405	5.2861	0.81628	2.5	37.4445	14.2861	48.3494	13					
13	¥181,405	¥169,903	¥11,405	5.2861	0.81628	2.5	37.4445	14.2861	48.3494	13					
14	¥182,515								45.8293	13					
15	¥185,023								48.7197	13					
16	¥182,537								48.7597	43					
17	¥182,537								48.7597	43					
18	¥181,845								47.9386	14					
19	¥181,845								47.9386	14					
20	¥181,845								47.9386	14					
21	¥182,056								47.8342	18					
22	¥180,979								47.5996	13					
23	¥180,979								47.5996	13					
24	¥180,979								47.5996	13					
25	¥180,979								47.5996	13					
26	¥180,979								47.5996	13					
27	¥180,979								47.5996	13					
28	¥180,979								47.5996	13					
29	¥180,979								47.5996	13					
30	¥180,979	¥11,471	¥17,448	4.7994	0.81628	4	32.3349	0.96701	47.5996	13					
31	¥180,979	¥164,732	¥16,247	4.29894	0.81645	1	32.5408	0.96852	47.5996	13					
32	¥184,260	¥164,683	¥19,577	4.27971	0.81646	1	32.5468	0.96806	47.5611	28					
33	¥181,361	¥164,652	¥16,709	4.25117	0.81601	1	32.6717	0.96827	47.2941	06					
34	¥181,361	¥164,652	¥16,709	4.25117	0.81601	1	32.6717	0.96827	47.2941	06					
35	¥181,728	¥164,608	¥17,120	4.24289	0.81614	1	32.6817	0.96808	47.2792	13					
36	¥181,798	¥164,541	¥17,257	4.23177	0.81608	1	32.6568	0.96801	46.8743	13					
37	¥182,132	¥164,484	¥17,648	4.18856	0.81694	1	33.1163	0.96792	46.8188	09					



- 収入(千円)
- 支出(千円)
- 収益(千円)



- 米-乾田直播 飼料米(%)
- 米-慣行移植 (%)
- 米-有機移植 (%)
- 小麦-特栽 (%)

経営体制 – ビジネス×アカデミアによる強固な体制

北村 憲一
取締役/COO



一橋大学
商学部卒

財閥系総合商社にて、一貫してコーポレート管理部門に従事。同社アジア太平洋州コーポレートユニット派遣員人事部長を退任後、食料安全保障への貢献を目指し中森農産に参画

当社では大規模生産に伴う農業経営のマネジメント手法構築・高度化を統括

友部 遼
CTO/博士
(農学 京都大学)



埼玉大学 助教
高精度数値解析基盤の新スキームを開発。数理モデルを組み合わせた数値解析と植物科学との異分野融合により、資源植物の栽培育種の高度化を目指す。生産性向上に向けたAIも活用の次世代農業手法開発を統括

山下 翔平
CFO



東京理科大学
経営学部卒

メガバンクにて、新規事業アライアンス業務や組合専従に従事。日系大手テック企業とJV2社の立ち上げ、サステナビリティ領域にて国内外大手企業との新規事業共創や、ポリシーエンゲージメントなどに従事

当社では、テラファームプロジェクトにおける財務/法務・戦略策定を統括

佐藤 康平
執行役員



明治大学
農学部卒

システムエンジニアとして、クライアントのニーズに応じた開発を手掛けた後、日本農業への一助となるべく中森農産へ参画し、以降、埼玉本拠地での急拡大をマネージャーとして推進

本年より、中国地方を拠点とし、テラファームPJにおけるPMIや急速な多拠点拡大を統括

100年に一度の危機を乗り越え、
人々の食を守り抜く！

